

集会では、各党への介護保険に係るアンケート結果が公表されたあと、各党の議員の方たちが並んで考え方を述べられました。事前アンケートは介護保険に関する 11 項目、その中の一つに訪問介護の基本報酬減額について「次期改定を待たずに撤回を求めることに賛成か」がありました。野党は概ね賛成でしたが、自民党、公明党の与党は明言を避けました。訪問介護事業所の中には、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）に併設している事業所（併設型）があり、同じ建物の中で訪問するので移動時間もなく、言うなれば効率が良く、収益（介護報酬）も上げています。一方、私たちのような一般的な訪問介護事業所では、雨の日でも一日 10 km 以上自転車で移動しているヘルパーもいます。現場のヘルパーは移動だけでも労力が必要です。そういった一般的な事業所と、効率の良い併設型の事業所の介護報酬は分けて考えるのが当然で、記者からの質問にも、この件が多く聞かれました。グリーン車乗り放題の議員さんに理解してもらえたでしょうか。今回の集会には初めて与党から自民党、公明党の議員が参加されました。聞くところによると、国は介護に関して「産業化と効率化」をうたっているそうですが、その背景には何があるのかをしっかりとみて頂きたいです。

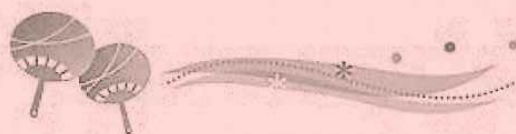
私も訪問介護で働く一人として、これからも現場の声を発信し、各党の介護への方針について注視して、次の選挙での指標にしたいと思います。

寄付のお願い

暮らしネット・えんは 2016 年埼玉県より認定 NPO 法人として認定を受けました。当法人への寄付は、寄付金控除などの対象となり、所得税や法人税税制上の優遇措置が受けられます。

「高齢になっても、障がいがあっても、この街で暮らし続けるために」を掲げて 2003 年から活動を重ねてまいりました。収入のほとんどは介護保険や障害福祉の報酬ですが、残念なことに諸物価や賃金の上昇に見合うだけの額が保証されていません。寄付収入は、地域に根差した在宅介護を守り続けるための貴重な資金になっております。是非とも多くの方のご支援をお願い申し上げます。

お問い合わせは下記のとおりです。



問い合わせ先: Tel 048-480-4150 Email: kurashinet@npoeenn.com